



Title	18世紀ブリistolにおける酒類・食料品販売業者 victuallerの検認遺産目録
Author(s)	岡部, 芳彦
Citation	大阪大学経済学. 2013, 63(2), p. 79-90
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/57057
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

18世紀ブリストルにおける 酒類・食料品販売業者 victualler の検認遺産目録

岡 部 芳 彦[†]

要 約

海港都市ブリストルは、国際商業網の発展、奴隷貿易の興隆、工業化の時期を通じてさまざまな商工業者が存在したが、主な職業の一つが酒類・食料品販売業者 victualler である。本稿では、ブリストル市公文書館に所蔵されている victualler の検認遺産目録の索引を作成し、未刊行の手稿原本の中から代表的な一例を選び、活字化した後にケーススタディを行った。

イギリス経済史において消費に関する研究は近年活発となってきたが、消費活動としての食文化やその担い手を研究したものはまだ少ない。とくに地域の victualler を対象にしたものはあまり見られない。本稿の分析から、これまで victualler は、免許制の酒類・食料品販売業者か、船舶への食糧提供が主な業務と言われることが多かったが、屋号を持つ酒場も主要な業務の一つとしていたことがわかった。またブリストルの victualler は海港都市特有の屋号であったなど、独自性を持つこともわかった。また史料に victualler と兼業として記載されたのは、非常に幅広い社会階層を含む海港都市特有の職業マリナーが多かった。主に船舶関係の仕事についていたと思われていたマリナーも酒場経営も行っていたことが分かった。

教会文書群の東 Ecclesiastical Cause Papers から選出した John Saunders の検認遺産目録のケーススタディからは、消費財に囲まれ、嗜好品を好む贅沢な暮らしぶりが浮かび上がってきた。Saunders は大規模な家屋に居住し、その店舗には銀製品の食器なども備えられ、凝った作りの酒房であった。家具の品質も高く、各部屋は装飾され充実した私生活であった。ブリストルの victualler の一部は、富裕な商人層に属していたのである。

1 はじめに

海港都市ブリストルは、国際商業網の発展、奴隷貿易の興隆、工業化の時期を通じて発展してきた。そこにはさまざまな商工業者が存在したが、そのうちで主な職業の一つが酒類・食料品販売業者 victualler（以下 victualler と記載）である¹。ブリストルだけではなくイギリス全体で

もこの職業のみを対象とした研究はまだあまり見られない。本稿では、まず基礎資料として、ブリストル市公文書館（Bristol Record Office, 以下 BRO）に所蔵されている victualler の遺産目録の索引を作成したい。また、刊行されていない検認遺産目録の手稿原本の中から代表的な一例を選び、活字化した後にケーススタディも行う²。

[†] 神戸学院大学経済学部准教授

¹ 酒類・食料品販売業者 victualler は「ヴィットラー」と発音するのが原語に近い。本稿では日本語表記では長いので victualler と記載する。

² 活字化に際しては、現在では死語となった品目名などもあるため、以下の検認遺産目録用語集を参考にした。Rosemary, M. (1993) *A Glossary of Household*,

17世紀にはロンドンに次ぐイングランド第2の貿易港として栄えたブリストルには³、海港都市特有の海事関係の職業が多々存在していた。そのうち、検認遺産目録の中で最多の職業はマリナー (mariner, 以下マリナー) である。マリナーの遺産目録には水夫から富裕な貿易商などまでが含まれ、非常に幅広い社会階層を指す職業であることが分かってきた⁴。

ブリストル市公文書館に所蔵されている検認遺産目録は基本的にはマイクロフィルムで保存されている。その一部は手稿の原本のみで保存されており、刊行されていない。手稿は、Ecclesiastical Cause Papers (以下ECP) と呼ばれる教会文書群の各年の束に含まれている。検認行為は1857年までの検認に関する法令に基づいて、それぞれの教区の司祭によって統制されていた教会裁判所で行われた⁵。ブリストルの遺産目録の中で、居住地の外に動産や財産を所有していた場合や教区外にたびたび出るなど様々な複雑な事情を持つものが、上級の教会法廷 Ecclesiastical Court の手続きが要求された事例があり、それらがECPの中に残されている⁶。そのため、これらの遺産目録は総額が大きく、遺産として査定された多くの家財が記載されている

場合も多いため、様々な職業の日常や消費生活を見るのに有用な史料である。ECPの各年の束にはそれぞれ200程度の遺言書、検認遺産目録や関連する付属文書が含まれている。これらの遺産目録については、1684年から1695年にかけて10例、残りの58例は18世紀に集中している。現在、その束から遺産目録のみを選び出し、デジタル画像として保存を試みている。その中から5例のvictuallerの遺産目録が見つかった。本稿ではそれらの史料をもとに議論をすすめる。

イギリス経済史においては消費に関する研究は近年活発となってきたが、消費活動としての食文化やその担い手を研究したものはまだ少ない。その中でもアルコール飲料を提供した業者や、現在のパブの前身とも言える宿屋兼酒場であるイン inn や醸造を行ったエールハウス alehouse など酒場の実証的研究はイギリスでも多くはない⁷。酒場は、18世紀を通じて行われたイギリス海軍による水兵の強制徴募 impressment の主な舞台にもなるなど⁸、その詳細を明らかにすることは18世紀イギリスの社会経済の背景を知る上で重要である。本稿では、その起点としてvictuallerに着目し分析をはじめたい。

2 史料：ブリストルの検認遺産目録

BROに所蔵される検認遺産目録数は7,169例であり、その中で最大のマリナーは1,675例が残存している⁹。表1は検認遺産目録数の上位5位までの職業である。victuallerについては89

Farming and Trade Terms from Probate inventories, Third edition, Derbyshire Record Society Occasional Paper No. 1. Moore, J., 'Glossary' in Moore, J. (1976) *Goods and Chattels of Our Forefathers* .: Frampton Cotterell and District Probate Inventories 1539-1804, Philimore & Co. Ltd, pp. 288-340.

³ Minchinton, W. 'The port of Bristol in the Eighteenth Century', in McGrath, P ed. (1972) *Bristol in the 18th Century*, David & Charles, p. 128.

⁴ Okabe, Y. (2012) 'Mariners in Bristol in the seventeenth and eighteen centuries-An analysis based on probate inventories-', Discussion Papers in Economics And Business, Osaka University.

⁵ Arkell, T. (2000) 'The Probate Process' in Arkell, T., Evans, N., Goose, N., eds, *When Death Do Us Part: Understanding and Interpreting the Probate Records of Early Modern England*, Leopard's Head Press Ltd, pp. 3-13.

⁶ George, E. and S. (1988) *Guide to the Probate Inventories of the Bristol Deanery of the Diocese of Bristol (1542-1804)*, Bristol Record Society, xv.

⁷ イギリス史が中心ではないが、邦語で読めるものとしてはウラ・ハイゼ著、石丸昭二訳『亭主 酒場と旅館の文化史』、白水社、1996。啓蒙書としては臼井昭『イン イギリスの宿屋のはなし』講談社学術文庫、2009年、海野弘『酒場の文化史』講談社学術文庫、2009年などがある。

⁸ Rogers, N. (2007) *The Press Gang, Naval Impressment and its opponets in Georgian Britain*, Continuum など。

⁹ E. and S George, *Guide to the Probate Inventories of the Bristol Deanery*, pp.2-264.

表 1 ブリストルの職業別検認遺産目録数

	職業名	遺産目録数
1	Mariner	1,675
2	Yeoman	519
3	Husbandman	214
4	Cooper	141
5	Victualler	89

出典：E. and S George, *Guide to the Probate Inventories of the Bristol Deanery*.

例の検認遺産目録が現在確認されており、全職業 251 例の中で 5 番目、海事関係の職業としては、航海に必要な桶や樽関係品を製造する cooper に続く 3 番目に大きな職業グループである。マリナーの遺産目録数のみ突出して多い理由は、18 世紀を通じたイギリスの対外戦争が主な要因と言われている。18 世紀以降、研究者の間で wage due inventories と呼ばれるマリナーの検認遺産目録が急増し、その数は 1,486 例である¹⁰。これらの遺産目録は、艦艇での戦闘などの海上任務において死亡したマリナーのものであり、戦死者への扶養手当支給のための資料として、死亡者の最後の航海の賃金、艦艇名、指揮官や艦長名だけが、艦長や士官によって記載されたものである¹¹。これらの wage due inventories を分析すればイギリス海軍史における戦死者の待遇の実態などの解明が可能であるが、日常生活や消費財の分析には向かない。

ブリストル市公文書館の検認遺産目録を調査する場合に有用な刊行物は、Edwin and Stella George による 1542-1804 年にかけての索引と 3 冊の検認遺産目録集の 4 点があげられる¹²。こ

の遺産目録集には彼らによって代表的なサンプルとして任意に選出された 330 例の遺産目録が手稿から活字化され収録されている。日本では、この刊行された遺産目録集を用いた研究も見られる¹³。

BRO で特定の遺産目録を見つける場合、この George の索引と BRO が作成した公式の索引 Bristol Probate Records: Inventories の両者を用いなければならない。まず、George の索引は、検認遺産目録の氏名がアルファベット順に並べられ、それぞれに 6 列の情報を付加し整理されている。1 列目は遺産目録の年号とマイクロフィルムシートの中の写真の整理番号、もしくは教会文書の年号である。2 列目は氏名、3 列目に検認を受けた教区もしくは地域である。4 列目には死亡者の職業もしくは地位、5 列目に遺産目録の総額が記載されている。加えて、6 列目に特記事項として、遺言書 will や会計報告書 account もセットで残っているかなどの情報を記載している。

この索引はアルファベット順に氏名が整理されているが、1 列目にはマイクロフィルムの写真の整理番号しかなく、マイクロフィルムシート自体の整理番号は書かれていない。そのため遺産目録を選び出す際は、まずこの George の索引を引いて年号と写真の整理番号を書き留めて、その後 BRO の公式の索引で各年号のマイクロフィルムシートの整理番号を調べ、そのシートの中から写真の整理番号を手掛かりに見つける作業となる。手稿の場合は George の索引の写真整理番号の場所に CP (Cause Paper の略) と記載されているため、各年の教会文書の

¹⁰ wage due の語が含まれるためこのように呼ばれる。

¹¹ Barry. J. (2008) 'Introduction' in George, E. and S. with the assistance of Fleming, P., *Bristol Probate Inventories Part III: 1690-1804*, Bristol Record Society's Publication Vol. 60, x.

¹² E. and S. George, *Bristol Probate Inventories Part III: 1690-1804*. George, E. and S. with the assistance of Fleming, P. (2005) *Bristol Probate Inventories: 1657-1689*, Bristol Record Society's Publication Vol.57. George, E. and S. with the assistance of Fleming, P. (2002) *Bristol Probate Inventories Part I: 1542-1650*, Bristol Record

Society's Publication Vol.54. E. and S George, *Guide to the Probate Inventories of the Bristol Deanery*.

¹³ 和田将幸「ミドリング・ソートと消費—17 世紀ブリストルの遺産検認目録から—」(『経済学論究』, 第 64 巻第 2 号, 2010 年)。なお、ブリストルの商工業者に関しては一柳峻夫の一連の研究がある。Hitotsuyanagi T. (2008) 'Leading European Traders in Late Eighteenth-Century Bristol', *Journal of Teikyo Heisei University*, Vol. 19 など。

東 Ecclesiastical Cause Papers (ECP) の中から探すことになる。

これらを用いて作成したのが表2のブリストルにおける victualler の検認遺産目録一覧である。マイクロフィルムに84例、手稿として5例が残存している¹⁴。次節では、先行研究に加えて、この一覧と他の史料をもとに職業グループとしての victualler を見ていきたい。

3 ブリストル周辺の醸造業・宿屋・酒場

クラバムによれば、ロンドンでは11の大醸造業者があり、全国的には多くの小規模業者と家庭での醸造が併存して行われ、独自の醸造を行う軍への食糧供給業者 (licensed victualler) が存在していた。業者の総数はイギリス全体で23,000人以上であり、大規模業者の力が強かったロンドンや家庭内醸造の多い北イングランドでは少なかった¹⁵。

18世紀のブリストル周辺の醸造業ならびに酒場については、ブリストル史の大家 Patrick McGrath と Mary E. Williams によるインとエールハウスの研究がある¹⁶。これはブリストル市の公文書の中から免許取得関係の書類を用いて、1752年から1764年にかけてのインとエールハウスを一覧にしたものである。850軒が確認されており、1751年のブリストル市の人口が約44,000人と推計されているため、50人に1軒の割合で存在していたことになる。

ブリストルの宿屋兼酒場であるインについては C. F. W. Denning が1943年に出版した解説書がある。当時現存していたインやパブに1軒ず

つその歴史の由来とイラストが添えられている。2005年に Maurice Fells の序文が付され再刊行された。それによるとブリストルで醸造がいつから始まったかは不明であるが、酒類検査官である ale conor と taster は1519年に雇用された記録がある¹⁷。その5年後には醸造業者のギルドが結成された。古いパブの中には1940年のドイツ軍による空襲で被災したものもあったが、この本で取り上げられた36軒中32軒は19世紀以前の創業であった¹⁸。

ブリストルのインに関しては、興味深い事実も明らかにされている。宿の看板は、もともとは馬と馬車のモチーフが多かった。また技術的に共通していたため、主に馬車塗装業者 coach painter が看板を描いていた¹⁹。しかし18世紀のブリストルに関しては、イギリスのパブで最も描かれることの多いシンボルの一つであり、インに看板を掲げることを定めたりチャード2世の紋章である白鹿 white harts が13軒確認できるのに対して、帆船が26軒、号鐘および船鐘が16軒であった²⁰。これについては、McGrath も屋号に ship が含まれるインとエールハウスが37軒あったと指摘している²¹。海港都市特有のモチーフが多数を占めていたのである。

1775年に発刊されたブリストル商工業者を中心とした人名録スケッチレイ・ディレクトリの中には、検認遺産目録において最大の職業グループであるマリナーは45人しか収録されていないのに対して、victualler は総収録数4,231人中449人と10.5%を占めている²²。Victualler の中で17人を除いて、white harts をはじめと

¹⁴ E. and S. George, *Guide to the Probate Inventories of the Bristol Deanery*, pp.2-264. EP/J/2/1/1762, EP/J/2/1/1768, EP/J/2/1/1772, EP/J/2/1/1773, EP/J/2/1/1783, BRO.

¹⁵ J・H・クラバム、一之瀬篤訳『近代イギリス経済史 第1巻 鉄道時代前夜のイギリス, 1820 - 1850 年』要綱, 第5章」岡山大学経済学会雑誌43 (4), 2012, 51 ~ 63, 56 頁。

¹⁶ McGrath, P., William, E. M., eds (1979) *Bristol Inns and Alehouses in the Mid-Eighteenth Century*, The City of Bristol.

¹⁷ Denning, C. F. W. with a new preface by Maurice Fells (2005. First published 1943) *Old Inns of Bristol*, Tempus, p. 7.

¹⁸ Denning, *Old Inns of Bristol*, pp. 31-123.

¹⁹ Denning, *Old Inns of Bristol*, p. 43.

²⁰ Denning, *Old Inns of Bristol*, p. 42.

²¹ McGrath, P., William, E. M. eds, *Bristol Inns and Alehouses in the Mid-Eighteenth Century*, xiii.

²² Sketchley, J. (1775) *Sketchley's Bristol Directory; Including Clifton, Bedminster, and the Out-Parishes of St. James and St. Philip*, James Sketchley, pp. 1-110.

表 2 ブリストル市公文書館の検認遺産目録における victualler

年	氏名	教区	額	特記事項
1618	Williams, Edward	St. Mary-le-Port	5	
1624	Edwards, Maurice	St. Nicholas	17	
1625	White, Henry	CB	14	
1629	Brickdale, Thomas	St. Werburgh	44	Cook-Victualler, 遺言書には Clerk と記載
1639	Freeman, John	St. Nicholas	70	
1640	Weston, George	St. Mary-le-Port	54	
1665	Harvey, Michael	St. Peter	26	
1668	Jeffries, John	SS. Philip & Jacob	48	
1670	Dowle, Peter	CB	17	別名 Gotley
1671	Hurst, Nathaniel	St. Peter	27	遺産目録には mariner と記載. 遺言書に victualler
1671	Parincheife, Samuel	St. John	22	
1671	Woodyard, Tobias	CB	12	
1677	Grant, Peter	CB	25	inv. & accounts.
1678	Lyes, John	Barton Regis	41	
1678	Merchant, John	CB	30	
1679	Roach, Morgan	St. Nicholas	12	
1679	Wade, Anthony	CB	32	
1685	Bush, George	CB	6	
1685	Milsum, John	SS. Philip & Jacob	15	
1686	Smyth, William	St. Thomas	57	
1686	Wallen, Michael	CB	217	遺産目録は butcher, 遺言書が victualler
1687	Winston, Richard	SS. Philip & Jacob	215	遺言書は butcher
1689	England, Thomas	Barton Regis	6	遺産目録には butcher と記載. 遺言書に victualler
1689	Prestwich, Edward	CB	13	
1692	Parsons, William	St. Peter	103	
1693	Merefield, William	CB	20	
1694	Phelps, William	SS. Philip & Jacob	126	
1697	Stone, Francis	CB	11	
1703	Watts, John	CB	70	
1705	Gwillim, John	CB	355	
1706	Brookes, Thomas	CB	21	
1706	Minchinton, William	St. Thomas	32	
1706	Paker, Thomas	CB	249	
1707	Watts, William	CB	14	
1710	Palmer, Walter	CB	209	
1711	Blatchley, Abraham	CB	137	
1711	Davis, William	Barton Regis	20	
1711	Rose, Samuel	Barton Regis	176	
1711	Sessell, Richard	CB	19	
1712	Cockaine, Thomas	St. Stephen	294	
1715	Ball, John	CB	7	
1715	Jayne, Thomas	SS. Philip & Jacob	67	
1717	Day, William	SS. Philip & Jacob	20	
1717	Floyd, Joseph	Westbury-on-Trym	371	
1718	Brown, Thomas	CB	21	
1718	Thomas, John	CB	9	遺産目録は mariner, 遺言書が victualler
1721	Nelson, John	CB	112	

年	氏名	教区	額	特記事項
1721	Salter, Edward	Barton Regis	86	
1721	Sture, Philip	CB	10	
1723	Burges, Samuel	SS. Philip & Jacob	10	
1723	Owen, John	CB	100	
1724	Hawstead, John	CB	70	inv. & account.
1731	Davies, Samuel	CB	12	
1732	Moore, Stephen	CB	4	
1732	Tyler, Samuel	CB	3	遺産目録は mariner, 遺言書が ^s victualler
1733	Flower, John	CB	98	
1733	Hall, Joseph	CB (St. Peter?)	125	inv. & account.
1734	Hare, Abraham	SS. Philip & Jacob	157	
1734	Plowman, William	CB	8	
1736	Wheeler, George	Clifton	15	
1737	Duglas, Thomas	CB	11	
1737	Vaughan, John	SS. Philip & Jacob	15	
1738	Davis, Thomas	CB	325	
1739	Hopkins, Clement	CB	62	inv. & account.
1739	Jarvis, William	CB	996	
1739	Lewis, William	CB	94	
1740	Horseman, Walter	CB	55	
1741	Bellamy, John	SS. Philip & Jacob	11	
1742	Williams, Jonathan	CB	657	
1746	Parsons, George	CB	5	
1749	Myatt, Joseph	CB	31	
1749	Stalaway, John	CB	18	
1749	Waters, Richard	CB	18	遺産目録は mariner, 遺言書が ^s victualler
1750	Leggatt, John	CB	133	
1750	Robbins, Richard	CB	10	
1750	Withey, William	CB	48	
1752	Morgan, Thomas	CB	111	
1754	Gagle, Francis	CB	10	
1756	Dymer, Daniel	CB	19	
1756	Savage, Thomas	CB	19	
1758	Brown, John	St. James	19	
1758	Watkeys, William	CB	6	
1759	Dee, David	CB	117	inv. & account
1761	Pratt, George	CB	205	inv. & account
1762	Milsome, Jacob	Temple	88	inv. & account (ECP)
1768	Hewett, John	Alveston	359	(ECP)
1772	Wright, Thomas	SS. Philip & Jacob	87	inv. & account 1760, will 1760 (ECP)
1773	Foot, Hannah	CB	242	inv. & account (ECP) , George 第 3 巻収録済.
1783	Saunders, John	CB	97	inv. & account (ECP)

出典：E. and S George, *Guide to the Probate Inventories of the Bristol Deanery*. EP/J/2/1/1762, EP/J/2/1/1768, EP/J/2/1/1772, EP/J/2/1/1773, EP/J/2/1/1783, BRO.

注記：CBはCity of Bristolの略記。Ecclesiastical Cause Papersに含まれるものは特記事項で（ECP）と記載。
遺産目録と会計報告書が残っている場合は inv. & account と記載。

して看板に由来した屋号が付記されており、今まで言われてきたように免許・許可を受けた船舶への酒類・食料品販売にくわえて酒場を主要な業務の一つとしていたことがわかる。

ブリストルの検認遺産目録から作成した表 2 の victualler の一覧からは、17 世紀に 28 例、18 世紀に 61 例が現存していることがわかる。また遺産目録額の平均は、17 世紀には 45.9 ポンド、18 世紀の 110.9 ポンドと倍以上の差がある。ここからは、18 世紀に入り victualler の収入が増加したことがわかる。また業者数が増えたことから、その職業に就くことが人気となり、社会的地位の向上もうかがえる。また総額が大幅に上昇したことからは、victualler の事業規模が大きくなったと考えられる。推定の域をでないが、17 世紀の victualler の主な仕事は、固定店舗で飲料を提供することよりも、岸壁などで屋台を使って飲食サービスを船員や水夫に提供する現在のファーストフード店のような形態であったかもしれない。

89 例中 8 例が、遺言書など他の検認記録と遺産目録の間で異なった職名を記載している。1686 年に検認・公開された Michael Wallen は、遺産目録には肉屋 butcher、遺言書には victualler と記載されている。1687 年の Richard Winston は遺言書には butcher、1689 年の Thomas England は Wallen と同じく遺産目録には butcher と記載されている。同一人物の検認記録の中に、肉屋と victualler が併記された事例が複数見られることから、この 2 つの業種が近い関係にあったことがうかがえる。ブリストルの victualler は、船舶に飲料だけではなく肉を中心とする食料を供給したり、店舗で料理を提供したと考えられる。

1718 年の John Thomas と 1732 年の Samuel Tyler の遺産目録では職業がブリストル最大の職業であったマリナー、遺言書が victualler となっている。ブリストルの人名録スケッチレイ・ディレクトリでも同様の事例が見られ

る。William Bird は BRO の検認遺産目録にも見られるように 'mariner and victualler'²³、James Strickland は 'victualler and mariner'²⁴ と記載されている。マリナーは水夫から富裕な貿易商まで非常に幅広い社会階層が含まれるが海事関係の職業である。そのため同じく船舶への飲料供給や水夫への飲食の提供を行った victualler は近接する職業であったため、兼業されていたと考えられる。また、これまでは主に船舶関係の仕事に就いたと考えられてきたマリナーが、酒場経営も行っていたことも分かる。

4 ケーススタディ：John Saunders の検認遺産目録

ここまで 17 世紀から 18 世紀にかけての victualler について検討してきたが、ここからは実際の生活がどのようなものであったのかを、検認遺産目録を一例選びケーススタディすることによって見てみたい。

使用する検認遺産目録は保存状態もよくまだ未刊行の ECP の中から選出する。表 2 にもあるとおり、ECP の中には 5 例の victualler の遺産目録が現存し、すべてが 18 世紀後期に作成された。その中で総額が一番大きいのが 359 ポンドの John Hewett (1768 年) である²⁵。ただ、Hewett の遺産目録が検認されたのは Alveston 教区であり、ブリストル執事管区内では一番ブリストル市中心から遠い教区の一つである。そのため、仕事を辞めた後に移り住んだ可能性も考えられ、現役の victualler に近い状態かの判断は慎重な分析が必要である。2 番目に総額が大きいのは、ブリストルの市街教区で 1773 年に検認・公開された Hannah Foot の検認遺産目録であるが、これは George によってすでに刊行されている²⁶。そこで 3 番目の John Saunders を

²³ Sketchley, Sketchley's Bristol Directory, p. 8.

²⁴ Sketchley, Sketchley's Bristol Directory, p. 93.

²⁵ EP/J/2/1/1768, BRO.

²⁶ E. and S. George, *Bristol Probate Inventories Part III*, pp.203-207. EP/J/2/1/1773, BRO. Hannah は文面から

表3 John Saunders (職業 : victualler, ブリストル市街教区, 1783 年) の検認遺産目録

A full true perfect and particular inventory of All and singular the Goods Chattells and Creditts of John Saunders late of the City and Diocese of Bristol Victualler deceased intestate which since his Death have come to the Hands Possession or Knowledge of Ann Saunders of the City and Diocese of Bristol Widow Relict and Administratrix of the Goods Chattells and Creditts of the said Deceased as follows viz.

The Deceaseds Household Goods Household Furniture Stock and Implements in Trade as taken and appraised by Cornelius Lowdin Sworn Broker the Nineteenth Day of May One Thousand Seven Hundred and Eighty

In the Parlour			In the Little Room		
One Oak Table	0	7	0	One Millpuff Bed and Bolster, One	
One Pillow ditto	0	4	0	Blanket Two Sheets One Counterpane and	1 10 0
One Deal ditto	0	1	6	One Beaureau Bedstead	
Twelve Wood Chairs	1	16	0		
One fire Shovel Tongs Poker and Fender	0	3	0	In the Fore Room second Story	
One Trippett	0	3	6	One Millpuff Bed Two Sheets One	1 10 0
Three China Bowls	0	16	0	Blanket Two Rugs and One Bedstead	
Eight Glasses	0	2	0	One Mahogany Tea Tray	0 7 0
One Ship framed and Glazed	0	4	0		
				In the Back Room adjoining	
In the Closed			One Millpuff Bed and Bolster Two Sheets	1	10 0
One Small sett of Castors with Silver Ferrells	0	10	0	Two Rugs and One Bedstead	
One Mahogany Tea Chest	0	3	0		
One Whip	0	3	0	In the Kitchen	
Twelve pieces of Glass	0	2	0	One Grate Fire Slice Tongs Poker Fender and Trippett	2 10 0
Six Coffee Cupps	0	1	0	One Spit and Racks	0 2 0
Eighteen Delf plates and Three Dishes	0	2	0	Ten Iron Candlesticks	0 3 8
Two Small Waiters	0	1	6	One Steak Tongs and Two Forks	0 1 0
Two GlaSs Jarrs	0	1	0	Twelve Pieces of Tin	0 6 0
One Tea Pot	0	0	4	Ten Pewter Quarts	0 15 0
Three Check Window Curtains	0	4	0	Ten Ditto Pints	0 7 6
				Nine Penny Pots	0 4 6
In the one Story Room				Two Copper Cups	0 3 0
One Feather Bed Bolster and Pillow Two	3	0	0	One Copper Pot and Cover	0 6 0
Sheets Two Blankets and One Quilt				Two Stew Pans	0 5 0
One Bedstead with Check Furniture	2	0	0	Two Tea Kettles	0 6 0
One Oak Desk	0	15	0	Two Sauce Pans	0 1 6
One Case of Drawers	0	18	0	One Box Iron and Two Heaters	0 2 0
One Mahogany Diving Table	1	11	6	Three Settles	1 7 0
One Box Ditto	0	15	0	Two Deal Tables	0 6 0
One Looking Glass	0	6	0	Two Old Chairs	0 0 6
One Swing Ditto	0	3	0		
Six Wooden Chairs	0	18	0	In the Barr	
One Night Stool	0	2	6	Two Silver Tankards weighing 36 Ounces at 5/1 P Ounce	9 0 0
Two Window Curtains and Rods	0	5	0	Three Silver pints weighing 32 Ounces at 5/2 P Ounce	8 5 4
Four BraSs Candlesticks	0	8	0	Two Silver Dobbins weighing 10 Ounces at 5/3 P ounce	2 12 6
Six China Tea Cups and Five Saucers One	0	6	0	One Punch Ladle	0 6 0
Tea pot And One Bason				Two Silver Table Spoons and Two Silver Tea Spoons	
One Japan'd Tea Board	0	8	0	weighing 2 Ounces and 15 Pennyweights at 5/4 P ounce	0 15 8
				Two Plate Cans	0 13 0
In the Back Room				Two Plated Dobbins	0 8 0
One Deal Chest	0	9	0	Nine China Basons mostly Cracked	0 2 0
One Feather Bed Bolster and Bedstead with Green	4	4	0	Fourteen Pieces of Glass	0 3 6
Furniture Three Blankets, Two Sheets and One Quilt				One Tin Sugar Cannister	0 2 0
Four Old Chairs and One Deal Table	0	6	0		

Four Pewter measures	0	2	6	In the Fore Cellar			
One Mahogany Hand Board	0	2	0	Six Barrells at 7/ each	2	2	0
One Chair	0	4	4	Six Barrells of Ale at £1,,8,,0 each	8	8	0
				Two Small Casks	0	5	0
In the Little Room				Three Horses	0	5	0
Six Wooden Chairs	0	15	0	A Mare and saddle and Bridle not valued by the Broker but worth at this Exhibitant hath been Informed and verily believes about	4	15	0
Two Old Tables	0	4	0	A Small Quantity of Spirits not valued by the Broker but of about the Value as this Exhibitant hath been informed and verily believes of	0	16	0
One Cover Cupboard	0	3	0	A Small Quantity of Hops not valued by the Broker but as this Exhibitant hath also been informed And verily believes of about the value of	1	0	0
One Looking Glass	0	1	6				
Twenty Eight Pieces of Queens Ware	0	2	6				
In the Brewhouse							
Two Large Tubs	1	9	0				
Three Pails One Wash Bottle Stand	0	6	0				
One Brass Skimmer and Ladle	0	1	0	This Exhibitant Craveth and allowance for the several Sums of Money by her laid out and expended in and about obtaining Letters of Administration of the Goods Chattells and Creditts of her said late husband deceased and in and about his funeral expences as follow (viz)			
One Copper Cofee Pot	0	2	6				
Three Coolers and Stand	1	10	0				
Eight Small Tubs	0	10	0				
One Buckel	0	1	0				
One Brass Kettle	0	4	0	To Cash paid for Letters of Administration of the Said deceased	4	14	6
In the Back Cellar				To paid Burial Fees	0	16	0
Twelve Barrells at 7/ each	4	4	0	To paid Thomas Dore Undertaker	5	5	0
Four Small Casks at 3/ each	0	12	0	To paid Mr. Chittenden Apothecary for Attending deceased in his Illness and for Medicines	0	4	0
Eight Barrells of Ale at £1,,8,,0 each	11	4	0				
Four Horses	0	10	0				

This Exhibitant also Craveth and allowance for the several Sums of Money by her paid to the several Creditors of the said deceased which were actually due and owing at the time of his Death as are herein after set forth (viz.)
1780

May 30 th	To paid Mr. Daniel Burges Attorney for Rent	13	0	0
June 10	To paid Mr. Whippeys Note for Hay	1	5	0
24	To paid Mr Wylde for Rent	12	0	0
July 14	To paid Mr Silcox Farriers Note	1	2	2
November 6 th	To paid Mr Herbert Breechemakers Note	0	8	0
17	To paid Mr Spencer Masons Note	0	14	6/2
1701 March 9 th	To paid Richard Wildgoose and Company Line Burners Note	0	2	1
29	To paid Mr Fry Distillers Note	1	18	9
May 25	To paid Mr. Powell Smiths Note	0	4	6
26	To paid Mr. Fear Distillers Note	50	7	6
	To paid Messrs. Organ and Slocombe-Malster Note	50	1	8/2
	To paid Mr. Webb Coopers Note	1	16	11
	To paid Mr. Hill Distillers Note	1	4	0

This Exhibitant also Craveth and Allowance for the Charges And Expences she may be at or put unto in Exhibiting this her Inventory and account or otherwise touching her said Administratrixship

The Mark of
+
Ann Saunders

Sworn open Court the
22d Day of February 1783
before us
J Campline Sur

出典：EP/J/2/1/1783, BRO.

注記：スペルや綴り違いはそのまま表記した。

取り上げたい。1783年にブリストル市街教区で検認・公開されているため、商業地にも近いことも選出理由の一つである。

表3はECPに保存されているJohn Saundersの検認遺産目録の手稿原本を活字化したものである²⁷。まず、この遺産目録からはSaundersがキッチンを含めた9部屋にくわえて醸造小屋とセラーを備えたかなり大規模な家屋に居住していたことが分かる。John Saundersの名前は商工人名録スケッチレイ・ディレクトリにも記載されている²⁸。Saundersが死去し遺産目録が検認・公開される以前の1775年に発行され、氏名だけではなく職業もvictuallerと一致しているため、同一人物と考えてよいだろう。その死去後の1793-1794年に発行された別の商工人名録マシューズ・ニュー・ブリストル・ディレクトリには、その名前が記載されていないことから同一人物であることが裏付けられる²⁹。スケッチレイ・ディレクトリによれば、彼の屋号はFoxであり、Redcliff通りに所在していた。

酒食を提供する店舗であった部屋は、7項目目のバーBarrであったと思われる。ただ、そこに記録されている品目の中には、ビール用の取っ手付ジョッキであるタンカードをはじめ現在ではその形が不明なアルコール飲料用容器dobbin、スプーンなど銀製品が多い。そのため、凝った作りの店舗であったか、または低価格な酒場でなかったとも考えられる。錫製などのさまざまな食器類に加えて、ガラスが14脚も備えられたことからここが店舗であった可能性が高い。

隣接していたキッチンには、シチュー鍋Stew panをはじめ、茶用やかんTea Kettleなど

さまざまな調理器具が備わっていた。17品目あるうちの12品目で複数が査定されていることから、日常生活よりも来客に対応するための器具であったと考えられる。とくに燭台candlestickは10台も査定されており、隣の店舗で使用されたと思われる。

11項目目には醸造所Brewhouseが記載されている。また二つのセラーには、馬などとともに合計14バレルのエールが貯蔵されていた。2つのワイン用樽cask、スピリッツ、ホップも記載されているが、いずれも「ブローカーに査定されない」ほど少量で、酒房Foxがエール中心の商品提供を行っていたと考えられる。

私生活をみてみよう。メインの居間Parlourにはオークのテーブルを12脚の椅子が囲み、十能fire shovel、やっところongs、火かき棒Poker、炉格子fenderなどが査定されていることから大型のテーブルと椅子が暖炉の前に置かれる部屋の配置だったと考えられる。テーブルには陶磁器類が置かれ、部屋のデコレーションとして船の模型がガラス等で額装され、展示されていたようである。

隣接する部屋the closedには12脚のグラスをはじめ、6客のコーヒークップ、18枚のデルフト風皿などが備えられていた。マホガニー製の茶用チェストtea chestや銀製金具のついた薬味容器Castors with Silver Ferrellsが置かれ、窓にはチェックのカーテンが据えつけられていた。

1階にあったone Story Roomは寝室として使用されていた。ベッドや枕などの寝具とともに、マホガニー製のダイニングテーブルやさまざまな種類の椅子、光沢の塗りが施された茶器用の家具Japanned Tea Boardなども記載されている。ティーセットも備えられていたことから寝室兼居間の役割を果たしていたと言える。

おそらく1階にあったThe Little Room、2階にあったthe Fore Room second Storyとその隣のBack Room adjoiningにはそれぞれmillpuffと呼

女性であったことが分かり、夫でinnholderであるWilliam Footによって査定されている。未亡人以外の女性の検認遺産目録が残されることは非常に稀であるので、この事例については今後検討したい。

²⁷ EP/J/2/1/1783, BRO.

²⁸ Sketchley, Sketchley's Bristol Directory, p. 86.

²⁹ Matthews.W. (1794) *Matthews's New Bristol Directory for the Year, 1793-1794*, William Matthews.

ばれる羊毛を使用したマットレス³⁰が備えられていることから家族または使用人などの個室であったと考えられる。

Saunders の遺産目録の最後には会計報告書 account がついている。これは死亡後に葬儀屋や付けなどの支払いをまとめたものである。故人の薬代や葬儀屋への支払いが記載されたほか、飼料代や何らかの賃貸料、装蹄師 farrier やズボン製造業者 Breechemakers など 12 個人 1 法人への支払が行われたことが分かる。

以上のケーススタディから分かったことは、まず John Saunders は相当に大きな家屋に居住していたことである。また、キッチンと隣接した店舗を持ち、その屋号は Fox であった。主寝室のほかに少なくとも 3 部屋の個室があり、家族や使用人がそこで暮らしていた。死亡後に多くの商工業者へ支払が行われたことから、手広い事業展開がうかがえる。私生活面では、居間に置かれた家具はマホガニー製や漆器で品質も高かった。各部屋はカーテンが据えつけられ、置物や食器などで装飾されていた。そこで茶器を用いて茶やコーヒーを嗜んだ。そこからは、さまざまな消費財に囲まれ、嗜好品を好む贅沢な暮らしがうかがえる。

5 小括

本稿では、海港都市ブリストルに多く見られた酒類・食料品販売業者 victualler についてブリストル市公文書館所蔵の検認遺産目録や商工人名録を中心に論じてきた。最後にもう一度論点を整理し、今後の展望を述べて終わりとしたい。

現在まで消費活動としての食文化やその担い手の研究はまだ少なく、現在のバブの前身とも言える宿屋兼酒場であるインや醸造を行ったエールハウスなど酒場の実証的研究はイギリスでも決して多くはない。その中でもとく

に victualler を対象にしたものはあまり見られない。そのため、17 世紀から 18 世紀にかけてのイギリスにおける酒類販売業の実態解明の第一歩として、海港都市ブリストルの主要な職業の一つ victualler の分析を試みた。これまで victualler は、免許制の酒類・食料品販売業者か、海港都市では船舶への食糧提供が主な業務と言われることが多かった。しかし、ブリストル検認遺産目録における victualler の一覧、商工人名録、一例のケーススタディからは、この業種が屋号を持つ酒場を主要な業務の一つとしていたことがわかった。

また先行研究や商工人名録の分析からブリストルの victualler は海港都市特有の屋号であったなど、他の都市の同業者に比べて独自性を持つこともわかった。18 世紀の国際商業網の発展、奴隷貿易の興隆、工業化を通じて海港都市ブリストルが独特な発展を遂げたことを象徴しているようである。ブリストルの victualler が独自性を持つことは兼業形態からも分かる。商工人名録にもあるとおり、victualler と併記して記載されたのはマリナーが多かった。マリナーは海港都市特有の職業であり、ブリストルでは水夫から富裕な貿易商まで非常に幅広い社会階層を含んでいた。同じ海事関係の職業であったマリナーと victualler が兼業されたことから、これまでは主に船舶関係の仕事についていたと思われていたマリナーが酒場経営も行っていたことが分かった。

教会文書群の東 Ecclesiastical Cause Papers に含まれていた John Saunders の検認遺産目録のケーススタディからは、さまざまな消費財に囲まれ、嗜好品を好む贅沢な暮らしが浮かび上がってきた。Saunders は 9 部屋にくわえて醸造小屋とセラーを備えた大規模な家屋に居住していた。その店舗には銀製品の食器なども備えられ、凝った作りの酒房だったことがうかがえる。家具はマホガニー製や漆器で品質も高く、各部屋はカーテンが据えつけられ、置物や食器

³⁰ Moore, *Goods and Chattels of Our Forefathers*, p. 316.

などで装飾されるなど充実した私生活であった。以上の Saunders の事例から、victualler の一部は非常に富裕な商人層に属していたといえる。

今後の研究課題であるが、ブリストルの Ecclesiastical Cause Papers に残される他の

victualler 3 例の手稿の原本からの活字化作業を継続して行い、その詳細をケーススタディとして比較検討する予定である。その結果、職業グループとしての victualler の実像をさらに明確にしたい。

Probate Inventories of Victuallers in Eighteenth-Century Bristol

Yoshihiko Okabe

Of the recent research on consumer activity, only a few study the food culture and the people responsible for it. This paper analyses victuallers in Bristol who engaged in the liquor and food business during the Eighteenth century. In addition, a victualler's probate inventory is transcribed from the original manuscript in the Bristol Record Office to get an idea of their day-to-day life.

Bristol experienced significant progress between the seventeenth and eighteenth century through international trade, the slave trade, and the industrial revolution. There are many unique occupations in the port city, for example, that of mariner. Victualler was also one of the largest occupations in Bristol, but the real image of them is obscured by now. There are few research studies on the people engaged in the liquor business such as victuallers, innkeepers, and alehouse keepers.

Research conducted on victuallers using eighteenth century directories reveals that many victuallers not only ran businesses that provided food or other provisions to ships, but they also managed taverns. Some examples in probate inventories and directories show that victuallers were also recorded as butchers and mariners. These jobs were related to Bristol's maritime economy and also had similar and cloth relationship each other. Like victuallers, mariners, one of the largest occupations in Bristol, also ran taverns.

From the case study of the probate inventory of John Saunders in the Ecclesiastical Cause Papers at the Bristol Records Office, it is observed that he led a life of luxury surrounded by many consumer goods. He lived in a residence with at least nine rooms, a brew house, and a cellar. He also ran a tavern, and his bar was well decorated and mainly served ale. From this, we can infer that some victuallers belonged to the class of wealthy traders.

JEL Classification: N33, N63, N93

Key Word: Economic history, Probate inventories, Victualler, Mariner, Bristol